

令和5年度 自己評価報告書 <八戸学院聖アンナ幼稚園>

<実施日> 令和6年1月11日(木)

<参加者> 山西、河原木、工藤、大島、笹山、外館、沼沢、中田、山田

<内 容>

1. 令和5年度重点目標

- I モンテッソーリ教育の充実
- II 連携と協働

2. 評価項目の達成および取り組み状況

具体的な取り組み内容および取り組み状況		評価
I	<p>内容</p> <p><u>モンテッソーリ教育の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 子ども一人一人に適した教育の実践 ② 自然体験、実体験の充実 ③ 教職員の資質向上（各種研修・園内研修） ④ 園内環境の整備 	B
	<p>状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ・園児一人一人が成長することに重点を置き、縦割り保育の日常生活や自主活動の中、日々丁寧な指導を行っている。 ・教職員一人一人は、見守り及び適切な援助、指導などのタイミング、教具教材の提供方法など自身の資質について、真摯に謙虚に捉え向上心を持って日々取り組んでいる。 ② ・季節ごとに自然豊かな環境で園外保育を実施している。 ・日々の保育で外遊びを大切にしている。 ・野菜を育て収穫し料理会の食材として利用している。 ③ ・モンテッソーリ教育基礎コース2年目に1名参加。 ・京都での全国大会「モンテッソーリ教育夏季研修会」に4名参加。 ・私立幼稚園連合会関連の全国、県内、市内の研修会に多数参加。 ・各種団体の研修会に多数参加。 ・園内研修は時間確保が難しく計画通りには実施できなかった。 ④ ・教具教材を魅力的に保つよう日々の整理整頓、清掃に努めた。 ・園庭のフェンス一部の張り直し、遊具の点検など環境整備に努めた。 ・老朽化する施設設備を計画的に整備、補修する必要がある。 	

II	内容	<p>連携と協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教職員間の連携と協働 ② 架け橋期を見据えた幼稚園と小学校との連携と協働 ③ 幼稚園と保護者との連携と協働 ④ 保護者同士の連携と協働 ⑤ 法人との連携と協働 ⑥ 地域との連携と協働 	
	状況	<ul style="list-style-type: none"> ① ・連携の重要性を一人一人が実感し理解し、協力体制が構築された。 ・一日一回のミーティング時間を確保し、日々の教育および園務への情報共有、共通理解を図り教職員間の連携に努めた。 ② ・コロナ5類に伴い、小学校との相互参観、年長児訪問等が実現した。 ・架け橋期への取り組みとしては更に踏み込んだ連携の必要を感じる。 ③ ・運動会でのメダルづくり及びクリスマス会でのプレゼント準備、もちつき会、豆まき会への参加など、保護者の協力を得て子どもたちが行事を楽しむことができた。 ④ ・卒園に向けての準備を年長児保護者が連携し進めている。 ・地域の業者からのオリジナル絵本づくりでは、ストーリー作り、作画、構成など、保護者同士で連携し完成させた。 ・③に挙げた各行事では保護者同士の連携と協働が発揮された。 ⑤ ・音楽、造形、英語の活動において、八戸学院大学および短期大学部との連携を図ることができた。 ・星の子シアターでの短大生との活動は昨年度よりも円滑に進めることができた。 ・自園給食に伴う業務増加では法人内の各部署との連携に助けられた。 ・冬の季節祭では、業務班で美保野キャンパス内の雪を集めて大きなスロープを作り子どもたちを喜ばせてくれた。 ⑥ ・年長児日帰りの旅では青い森鉄道での乗車体験および近隣の花屋での買い物体験を実施した。 ・八戸警察署および類家交番との連携により不審者対応避難訓練を実施し、警察官に関わるお話などで子どもたちの興味関心を深めることができた。 	B

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった）

3. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<p>令和4年度末のベテラン教員退職により、モンテッソーリ教育を専門的に学んだ教員数が少なくなった状況にあるが、一人一人の教員が基礎的な部分から学びを深めるよう努め保育の中で子どもたちと実践する日々を送っている。</p> <p>少しずつ高い意識をもって取り組んできていることを評価する一方で、更なる資質向上に努める必要がある。</p> <p>多方面の連携と協働に取り組む努力をし、成果を上げることができたと感じる。</p> <p>但し、小学校や地域との連携には更に踏み込んだ取り組みの必要性を感じている。</p> <p>今後も引き続き連携と協働を意識し豊かな教育活動を進めていけるよう努めたい。</p>

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった）

4. 令和6年度に取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
I	モンテッソーリ教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人に適した教育の実践 ・法人内上級学校との連携による教育活動の実践 ・自然体験、実体験の充実 ・教職員の資質向上 ・園内環境の整備
II	食育への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・食への興味関心を深める ・法人内上級学校との連携により園児および保護者への食育活動 ・ジュース作り、クッキー作り、料理会など食に関する各種行事の実施 ・野菜を育て収穫し食材とする体験
III	地域における子育て支援への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児教室の充実 ・卒園児対象の行事開催

令和5年度 学校関係者評価報告書

① モンテッソーリ教育の充実 について

<第三者委員より>

・モンテッソーリ教育の充実を目指しながらも、“働き方改革”の視点から教職員の心身の健康に考慮して進めてほしい。

<保護者より>

・モンテッソーリ教育の研修にたくさんの先生方が参加し勉強をしていることが素晴らしいと思う。安心して子どもを預けることができている。

・未就園児教室に通ってくる親の中には、“モンテッソーリ教育とはどんな教育なのか”分からずにいる親が多いと感じる。子どもを尊重するというこの教育の良さを是非多くの方々に伝えたいと思う。幼稚園側の情報発信も大切だし、我々保護者も何かできないかと感じている。

② 連携と協働 について

<第三者委員より>

- ・職場内に話し合いの雰囲気があり、連携に努めていることが感じられる。
- ・連携の取り方として、IT 機器の活用も視野に入れたらどうだろうか。
- ・地域との連携として、自社の従業員も協力可能である。ぜひ取り組んでいきたい。
- ・最近のニュースにある“虐待”には心が痛む。幼稚園に通う子どもは大丈夫だと思うが、地域に対しての働き掛けも期待したい。

<保護者より>

・幼稚園と保護者の連携という点で、最初はお手伝いができるのか不安な面もあったが、参加してみるととても楽しんでできた。もっと必要なことを言ってもらえたら、手伝える保護者はたくさんいると思う。

・保護者同士の連携も楽しみながらできた。幼稚園に保護者が集まって活動する、ということが聖アソナ幼稚園の良さだと思う。もっと集まる場が増えることを希望する。